

R7.11.26（水）第2回 河原子地区住民説明会 出席者からの御質問・御意見等及び回答の概要

N.O.	分類	御質問・御意見等	回答
1	通学の安全対策等	統合に伴い大久保中に通学するとなった場合、国道245号や国道6号を通る生徒もいる。皆が納得することは難しいとは思うが、特に通学の安全性について考慮してくれれば、不安な気持ちが少しでも減るのではないかと思う。	<p>通学路の安全対策については大切なことであるため、生徒の皆様が安心して通学できるよう、統合準備委員会に設ける通学部会において検討を進め、皆様の不安を少しでも軽減できるよう一つ一つ丁寧に進めていく。</p> <p>市内全体で見たときに、中学生の通学距離は、例えば、神田町から松風中まで通学するとなると、河原子から大久保中までの距離よりも長く、国道6号や国道293号も渡る。統合に伴い、旧東小沢小学区から坂本東小への通学においては、路線バスを利用しているが、中学生については、自転車通学が基本となっている。だから河原子学区でも受け入れてほしいという訳ではなく、河原子学区からできる限り安全に通学できるよう、皆様からのご意見を丁寧に伺いながら、危険箇所について対策を講じていきたいと考えている。（事務局）</p>
2		河原子から大久保中に通学する場合、かなり遠距離となるが、スクールバスの運用は検討しているのか。	学校再編計画では、統合に伴い通学距離が一定以上延伸し、徒步や自転車による通学が困難になった場合や、通学上の安全確保に必要が生じた場合は、学校、保護者、地域、路線バス事業者を含めた関係機関等との協議の上、公共交通機関の活用を検討することとなっており、スクールバスではなく、路線バスの活用を検討していくことを考えている。（事務局）

No.	分類	質問・意見等	回答
3	当初の計画	<p>現在、大沼小のPTAや母の会で統合に向けて登校班の分割等の検討を始めているとの話を聞いた。当初の計画（大沼小を分割統合する計画）は、まだなくなっていないのか。</p>	<p>今回お示しした計画改定（案）は、現在、検討段階であり、当初の計画がなくなったわけではない。決定している内容ではないため、大沼学区の皆様には説明をしていない。計画改定（案）が決定した場合は、改めて河原子学区以外の関係学区の皆様へ周知する機会を設けたいと考えている。</p> <p>学校の統合は、センシティブな内容であるため、河原子学区よりも前に大沼学区等に説明して、既に決まっているような話にならないために、まずは、河原子学区の皆様からご意見を伺い、それを計画改定検討委員会に報告をして、河原子学区の皆様の考えを踏まえて検討したいと考えている。（事務局）</p>
4	計画改定の（案）に対する賛成・反対の人数等	<p>計画改定（案）や日立市立学校再編計画全体に対する賛成・反対の意見集約等を行っているのか。</p>	<p>これまで市内において統合してきた学校では、統合に関する賛成・反対の意見の集約は行っていない。統合に関する説明を行ってきた中で、個別の不安な点を一つ一つ解決していくことにより理解していただいてきたことを踏まえ、検討の最初の段階における賛成や反対ではなく、子どもたちにとって、より良い教育環境を確保するためには、どのように進めて行くかを皆さんと一緒に協議していくことが大切であると考えている。</p> <p>学校の統合は、センシティブな内容であるため、最初の段階で結論を出すのではなく、様々な議論を経て方向性を出す必要があると考えている。（事務局）</p>

NO.	分類	質問・意見等	回答
5	計画見直しの理由	<p>当初の計画を見直した理由として、大沼小の児童数が当初の想定よりも増えたこと、大沼小を分割統合してしまうと小中連携ができなくなってしまうこと、大沼の住民から反対意見があったからと聞いているが、その他に理由はあるのか。</p>	<p>日立市では、地域コミュニティの活動単位が小学校区となっており、仮に小学校を分割統合するとなつた場合は、小学校区と密接な関りがある地域コミュニティの活動にも影響が大きいとの意見が多くある。</p> <p>大沼学区の児童数は、計画策定時の推計よりも増えていることや、小中学校の円滑な接続を推進する観点も含め、小学校区を分割する統合を見直すこととなつた。(事務局)</p>
6	計画改定(案)の再考	<p>当初の計画のままでよいと思っており、計画改定(案)について反対をしている。当初の計画について、大沼の方が反対していることや、小中連携の観点から、小学校区を分割する統合は見直すことだが、河原子中と大久保中が統合するとなつた場合、通学方法(BRTを利用する)等の理由から、ある程度の人数が泉丘中に通学することが想定され、河原子小から大久保中と泉丘中に分かれて進学することになるため、小中連携ができなくなると思う。また、大沼の方から反対があつたことだが、私は当初の計画でよいと思っていたため、反対の声を上げる機会がなかつた。河原子小の保護者の総意ではないかもしれない</p>	<p>当初の計画は、当時の人口推計に基づき、大沼小を分割して統合を行うものである。一方で小学校区と地域コミュニティは密接な関係があり、河原子に限らず小学校区を分割した場合、地域からコミュニティの活動ができなくなってしまうとの不安の声が、実際に他の地域コミュニティから出ている。</p> <p>大沼学区の児童数は計画策定時の推計よりも増えており、大沼小学校の跡地に中学校を新設するとなつて、既存校舎の解体や建設、タイムスケジュールの課題もある。</p> <p>今回の計画改定(案)について、地域の皆様によく理解をしていただいた上で進めたいと考え、地域説明会やマチコミメールを活用した河原子小・河原子中の保護者の皆様からご意見を伺いながら進めてきた。子どもたちにとって何がよいのか皆様に議論してもらいたい。(事務局)</p>

		が、当初の計画を強く指示しており、署名等を行いたいと考えている。	<p>市の行政経営改革の観点や現在の財政状況を考えると、大沼小の跡地に中学校を新設することは、何年先に建設できるか不透明な状況である。一方で大久保中学校は、東日本大震災後に建設された新しい学校であり、非常に教育環境もよいと聞いている。</p> <p>中学校卒業後は、高校への進学等により、新しい環境に適応していく力がより求められる。中学校から高校への進学等の流れを踏まえ、保護者の方には判断していただきたい。学校再編計画改定検討委員会の委員として皆様としっかり議論を経て進めていきたいと思うので、よろしくお願ひしたい。(出席者)</p>
7	河原子中の校舎	河原子中と大久保中が統合するとなった場合、統合までの間、河原子中の校舎の一部は、プレハブのままなのか。何か整備を行う予定なのか。	統合までの期間、河原子中学校の施設については、プレハブで考えているが、環境整備については、施設所管課と対策を検討していく。(事務局)
8	統合準備委員会、学校再編計画改定検討委員会の委員構成等	統合準備委員会や学校再編計画改定検討委員会は、何人くらいで活動されているのか。	市内において設置している統合準備委員会は、例えば中学校の統合の場合は、統合対象学校の教職員・保護者・地域住民それぞれの代表の方、関係する小学校の教職員・保護者の代表の方など合計20名程度の委員で構成している。同様に学校再編計画改定委員会の場合は、保護者(市P連)・地域コミュニティ・学校教育関係者(学校長会)等の代表など合計14名の委員で構成している。(事務局)

No.	分類	質問・意見等	回答
9	今後の進め方	<p>今後の進め方について、今回の計画改定（案）を学校再編計画改定検討委員会で協議を行い、その後、統合準備委員会を設置する流れになるのか。</p>	<p>本日の説明会において、いただいたご意見等を踏まえ、河原子小・河原子中のPTA、学校、地域コミュニティの各代表の方々と今後の進め方についてご意見をいただきながら、学校再編計画改定検討委員会で検討を進めていく流れとなる。</p> <p>検討委員会で協議した結果、計画改定の検討方針（案）のとおり進めることとなった場合は、統合準備委員会の設置に向けて、統合対象校の保護者の皆様を対象とした説明会の開催を考えている。（事務局）</p>

以 上